工事店さまへのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOTO

食器洗い乾燥機専用分岐金具

EUDB300SKE5R

（株）KVK
KVK製のシングルレバー式（台付きタイプ）用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
また、ご使用のお客様の方で本施工・取扱説明書の「日ごろのお手入れと点検」をよくお読みいただき、大切に保管してください。

主な適用機種は **KM326型　KM327型　KM336型　KM346型　KM506型　KM507型　KM328　KM536**

詳しくは「分岐金具選定マニュアル」をご参照ください。

施工に関する安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。	❗	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

❗必ず実行	**水道メーターの止水栓またはバルブの開放は、必ず分岐金具と食器洗い乾燥機を給湯ホースで接続したあと行う** 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
❗必ず実行	**分岐金具取り付け完了後、食器洗い乾燥機の試運転を行い、水栓本体と分岐金具との間から水漏れがないかよく確認する** 家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

⚠ 注　意

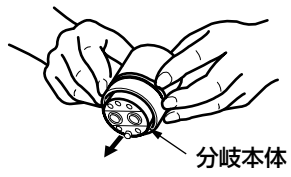
🚫禁止	**凍結のおそれのある所への設置は避ける** 水漏れのおそれがあります。
🚫禁止	**施工前後に水道メーターの止水栓またはバルブの開放状態のままで分岐金具、水栓金具などの分解、取り外しはしない** 障害、物損、故障、水漏れなどのおそれがあります。
🚫禁止	**水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しない** 取り付けができなくなったり、水漏れのおそれがあります。
🚫禁止	**分岐金具の改造はしない** 水漏れのおそれがあります。
🚫分解禁止	**分岐金具は絶対に分解しない** 水漏れのおそれがあります。
❗必ず実行	**分岐金具を取り付ける場合、必ず施工説明書で指示されている工具を使って取り付ける** 指示されている工具以外で取り付けを行うと、傷を付けたり施工不良により水漏れのおそれがあります。
❗必ず実行	**カバーナットの取り外し、取り付けを行うときは水栓本体が回らないようにする** 水栓内部の配管のねじれによる破損、水漏れのおそれがあります。

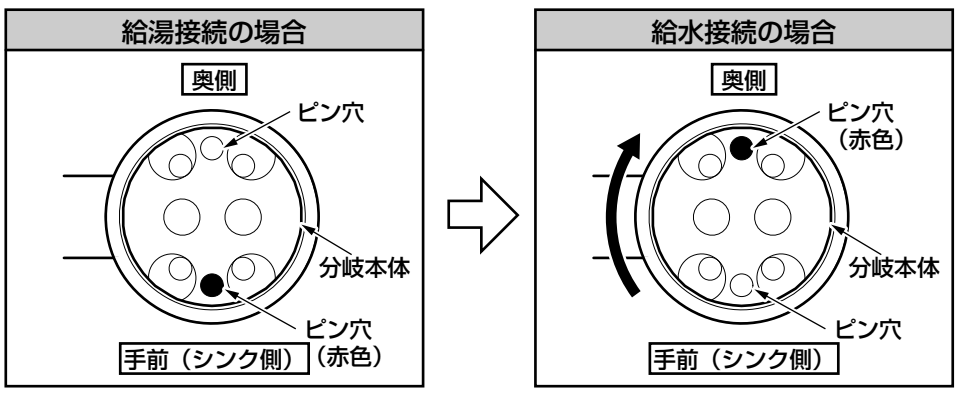
給水接続への切替方法　※給湯接続と比べて洗浄時間が長く、ランニングコストが高くなります。

🚫禁　止	**部品の組み替え時に分岐金具やパッキンなどを傷つけない** 水漏れのおそれがあります。
❗必ず実行	**施工前に給湯機の取扱説明書を参照し、給湯温度の設定が可能であることを確認する** **高温給湯タイプ（70℃以上でしか温度設定ができない）の電気温水器、ガス・石油給湯機を使用する場合には必ず給水接続に切り替える** 食器洗い乾燥機の故障の原因となります。
❗必ず実行	**十分に注意して取り付け、部品の組み替え作業を行う** 手などにけがをするおそれがあります。

①分岐金具の分岐本体を押し出す。

②分岐本体を180°回転させ、上面の赤色のピン穴を奥側にして、分岐金具に押し込む。





日ごろのお手入れと点検

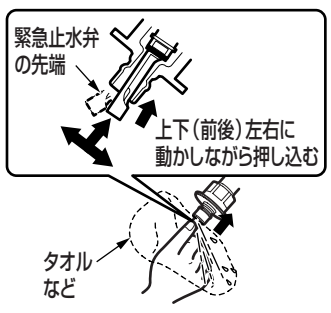
❗必ず実行	**定期的に配管のまわり（ホース接続など）を点検し、水漏れがないか確認する** 部品の劣化摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらすおそれがあります。

使用中にホースが外れた場合の注意

●**開閉ハンドルを閉めて**、緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしながら押し込み、湯を抜いてから給湯ホースを取り付けます。

熱湯が出る場合がありますので注意してください。

●水圧が高くレバーが押せない場合は、継手部をゆるめてから湯を抜きます。
その後、必ず継手部を取り付けてください。



商品のお問い合わせは・・・
TOTO（株）お客様相談室へ
TEL 0120−03−1010
FAX 0120−09−1010

修理のご用命は・・・
TOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02

補修用部品のご購入は・・・
TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99

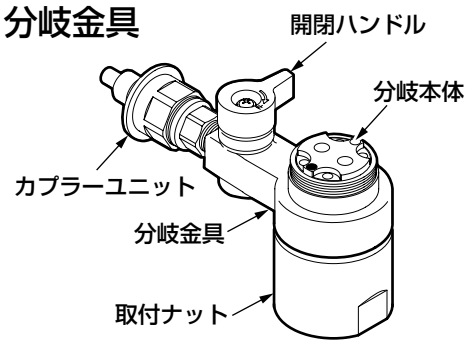
インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

裏面へつづく

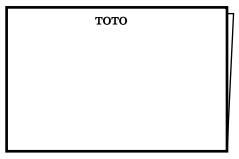
施　工　手　順

部品の確認　次の部品があることを確認してください。

1. 分岐金具



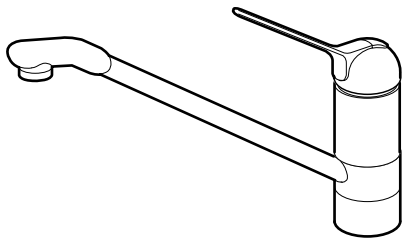
2. 施工説明書



※水栓の品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

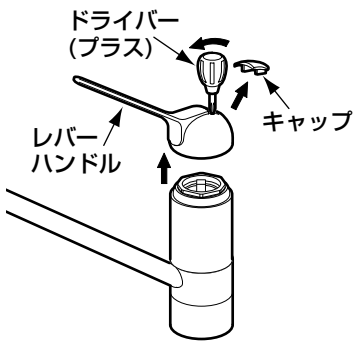
1 水道メーターの止水栓またはバルブを閉める。

注 水栓から水が出ないことを確認してください。



2 レバーハンドルを取り外す。

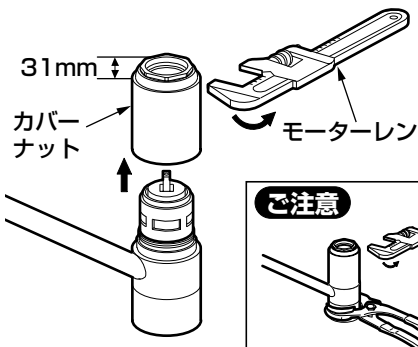
キャップを先の鋭いもので取り外し、ビスをドライバー（プラス）でゆるめ上に持ち上げるようにしてレバーハンドルを外す。



3 カバーナットを取り外す。

モーターレンチなどで、カバーナットを時計とは逆の方向に回して外す。

注 カバーナットをゆるめるときに本体が回る場合がありますので注意してください。



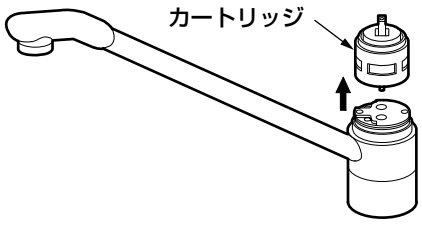
ご注意

本体が回る場合は、市販の(株)五十嵐プライヤー製(ソフトタッチ・WL-270S)をご使用ください。

4 カートリッジを取り外す。

カートリッジの外周を手で持ち、上に抜くように取り外す。

注 カートリッジの下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(2個)



5 分岐金具を取り付ける。

①分岐金具の分岐本体を押し出す。

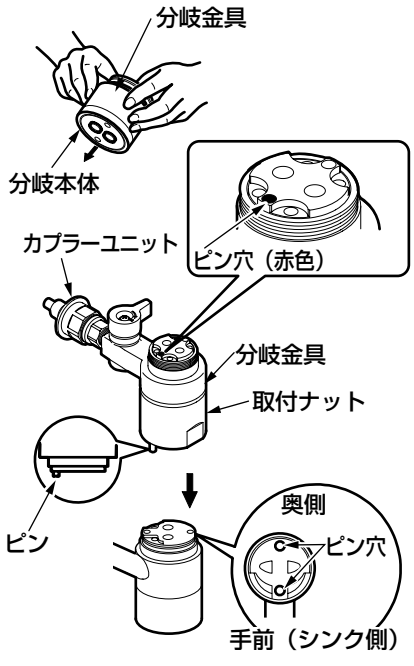
注 分岐本体を押し出す際にはゆっくりと動かしてください。
分岐本体のOリングが損傷し、水漏れのおそれがあります。

②分岐本体上面の赤色のピン穴を手前に（給水接続の場合は奥側）して分岐本体のピンを水栓のピン穴と合うようにはめ込む。

注 ●分岐金具の下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(2個)

③取付ナット内のねじ部と水栓のねじ部が、かかるように分岐金具を上から押さえ込み、取付ナットを仮締めする。

注 分岐金具を回した際、分岐本体が共回りしないか確認してください。
回る場合は、①からやり直してください。



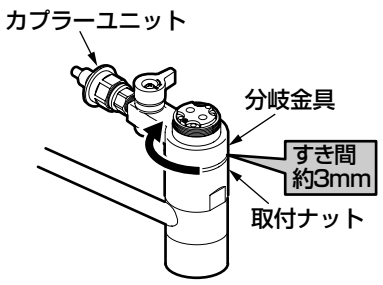
6 給湯ホースの取り出し方向を決める。

①分岐本体を手で押さえながら分岐金具のカプラーユニットを食器洗い乾燥機設置方向に向ける。

②取付ナットを**手締め**にて確実に締め付ける。

※締め込み後、取付ナットの上部にすき間が約3mmできます。

注 取付ナットが締めづらく、工具を使用する場合は、締め付け過ぎないよう注意してください。
配管のねじれによる破損、水漏れのおそれがあります。

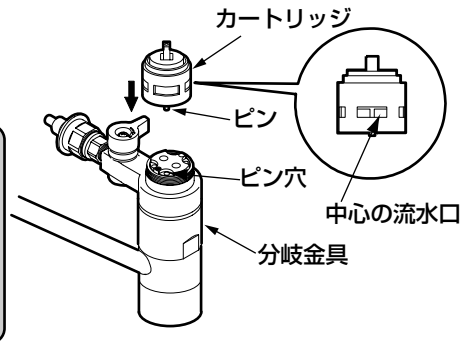


7 カートリッジを組み込む。

カートリッジのピン(凸)と分岐金具のピン穴(凹)とが合うように、カートリッジの中心の流水口を正面にセットする。

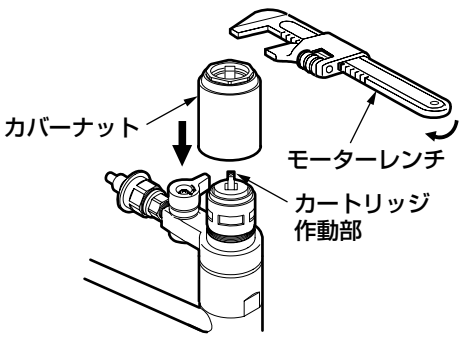
注 ●カートリッジの下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(2個)

●正確にはめ込まれているか確認するために、カートリッジを左右に動かして回転しないか確かめてから次の作業を行ってください。



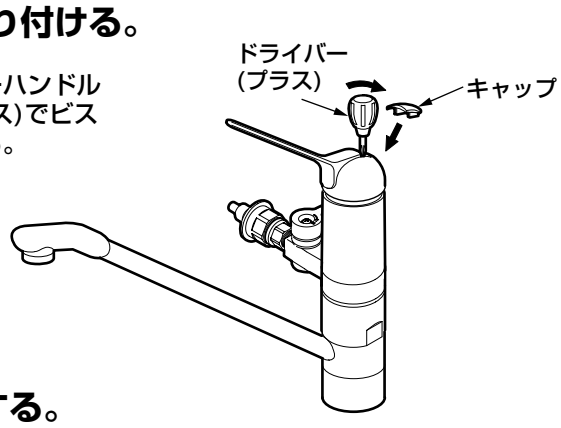
8 カバーナットを取り付ける。

分岐金具のねじ部にカバーナットをねじ込み、締め付ける。



9 レバーハンドルを取り付ける。

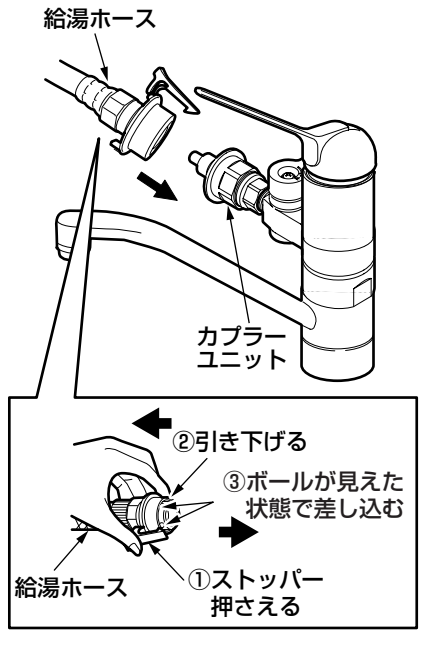
カートリッジの作動部にレバーハンドルを差し込み、ドライバー(プラス)でビスを固定し、キャップをかぶせる。



10 給湯ホースを接続する。

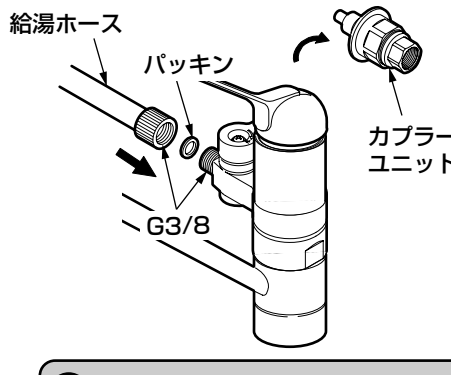
給湯ホースの接続仕様に合わせて、給湯ホースを接続する。

カプラー接続の場合



G3/8ねじ接続の場合

カプラーユニットを外して給湯ホースをねじ込んで接続してください。



注 パッキンの付け忘れにご注意ください。

再生紙を使用しています。